

シニア・レンジャー集会 ～見る、聞く、体験する～



あの東日本大震災から13年。大人には当時のことが消えることはありませんが、あの年に生まれた子どもはもう小学校を卒業しています。そう思うと、あの日の記憶がない子どもたちが、この先増えていくのだと思います。私たちガールスカウトは、防災・減災プログラムを通して、忘れず、語り伝え、意識を新たに学び続けています。

10月29日(日) 釜石市鶴住居『うのすまい・トモス』を訪れ、シニア・レンジャー(中学・高校生年代)部門集会を開催しました。今回は特別にジュニア部門の小学6年生も参加としました。

『うのすまい・トモス』は、「東日本大震災の記憶や教訓を将来に伝えるとともに、生きることの大切さや素晴らしさを感じられ、憩い、親しめる場」とした複数の公共施設がある鶴住居駅前エリアです。

その中にある震災伝承と防災学習のための施設「いのちをつなぐ未来館」では、実際に震災を体験した語り部さんとともに、釜石東中学校・鶴住居小学校の児童生徒が当時避難した避難道を歩き、校舎があった場所である復興スタジアムを見学し、「いのちをつなぐ未来館」の展示を解説していただくプログラムを体験しました。

参加者はみな真剣に、語り部さんの震災から復興までのお話を聞き、当時の出来事を肌で感じながら、防災・減災について再確認しました。



雨の中の避難追体験・非常用袋の確認
「未来に向けて、私たちができることは何か」を学ぶスカウトたち
*行きも帰りも電車が雨で緊急停車するハプニングがあり
心の“そなえ”の大切さも体験しました*

いわて盛岡シティマラソン ボランティア協力

10月22日(日) 盛岡市において、いわて盛岡シティマラソンが開催されました。今年度から地域への役立ちとして、県連事業の取り組みとなり、第3団(盛岡)、第5団(花巻)、第11団(紫波)のスカウト・リーダーがボランティアとして参加しました。今年度は、フィニッシュテープの係・フィニッシャータオルの配布係を担当しました。ランナーに「お疲れさまです」「完走おめでとうございます」と声をかけ、時折降る雨にも負けず、笑顔で頑張りました。



フィニッシャータオルの配布準備



フィニッシュテープを持つスカウトたちもちょっとドキドキ



ゴールを見守るスカウトたち



選手への拍手 笑顔を忘れずに



ボランティア参加者の皆さん

もりおか魅力発信大使として活動しているタレントの天津木村さんが大会の宣伝隊長としてフルマラソンに参加。フィニッシュを決めた木村さんと、記念撮影しました♪「あると思います!」といったとか…?

ほっかいどうDEわたしだいすき!!



第5団(花巻)の佐藤絹(きぬ)さんと及川枝真(しま)さんが参加引率は、奥寺茜音(あかね)リーダー 元気に盛岡駅から出発

10代は成長にともない、からだが変化していく年代ですが、自分のからだのこと、どのくらい知ってますか？そして、その自分のからだを守ることでも大切です。このプログラムでは、自分のカラダを知り、守りかたについても考えます (ガールスカウト北海道連盟の文から)

11月3日(金・祝)～5日(日) 札幌市にある「かでの2.7」を会場に、4年ぶりに東北・北海道地区の青森、秋田、岩手、山形、宮城、北海道のスカウトが集まりました。『自分のからだを知ろう、守ろう』をテーマにしたプログラムを中心に北海道を満喫し、地区の同年代の沢山の仲間たちとともに、多くのことを学びました。

1日目

身体のしくみ、月経のこと、身につける生理用品についてなどパトロールにわかれ、実技や意見の交換が活発におこなわれました。夜には、みんなでスープカレーの夕食を味わうなど、札幌ならではの味を楽しみました。

2日目

1日目に引き続きしっかりとプログラムを行い、午後からは札幌市内を見学しました。秋晴れの中、札幌市内とジンギスカンを堪能。夜の交流会では、『ガールスカウトって?』の質問に答えられる私達になろう!と、参加者が考えを発表する素敵な時間もありました。

3日目

ふりかえり・まとめの後、仲間との別れを惜しんで解散となりました。

SAPPORO

札幌市内の見学や
美味しい食事も
楽しみました



SAPPORO



充実した顔のふたり (左:絹さん 右:枝真さん)

参加したふたりの感想

佐藤 絹 さとう きぬ (Sr.3 中学3年生)

今まで交流が苦手な人が多かったのですが、もっと自分の活動と知識の幅を広げたいと思い参加しました。今回のファンミーティングで学んだ事を家族や友達だけでなく、もっと多くの人に自分で声を上げて伝えて行きたいです。シニアになると、県内外での活動の機会が増えるので、交流が苦手な人も県外のスカウトと友達になれるし、自分の成長に繋がるので色々な活動に挑戦して欲しいです。

及川 枝真 おいかわ しま (Sr.1 中学1年生)

他県のスカウトと県外で交流してみたいという思いと、その経験が今後の活動や生活の中に響いてくると思い、参加しました。「自分の体を知ろう・守ろう」の講習の中で、もっと自由で良いという言葉を知って、常識をちょっと違う視点で見つめ直すようになりました。今回、県外での活動に初めて参加したことで自信が付き、これから様々な分野の活動にもチャレンジしていきたいです。

特集

「団の歴史を調べよう」

はじめに



2025年3月1日に岩手県連盟は、結成55周年を迎えます。それに先立ち、2023年度は1年を通して、自分の団の歴史を学び、団への愛を育み、歴史的な積み重ねを大切に活動する気持ちを深め、団員相互の交流を深める年にしたいと考え、その機会として5月22日の“ガールスカウトの日”前後の集会で、「団の歴史を調べよう」の取り組みを行いました。

団がいつ・どこで・誰によって・どんな思いがあり始まったのか、かつての活動をふりかえり、思い出話に花を咲かせ、少女会員や保護者に団を深く知っていただき、活動継続への感謝「ありがとうの輪」をひろげる機会としてほしいと願って企画したこの機会。元団員さんなどをご招待してお話を聞くきっかけになり、更には連盟の歴史に触れた団もありました。

スカウトたちが興味津々に話を聞いてくれたこと、何よりリーダー達の昔話に花が咲き、とても生き生きとしていたことなど、各団から寄せられた報告から知ることができました。沢山の方達の「思い」や「願い」「助け」があって、団の活動は続いています！

第3団

1968年(昭和43年)7月発団

昭和45年10月に開催が決定した国民体育大会「みちのく国体」をきっかけに第1団(釜石)第2団(江刺)に次いで盛岡市で発団。当時の千田正県知事、教育長、盛岡市長、岩動道行議員、工藤藤議員、沢山の方にお世話いただいた。

<歴代団委員長>

初代 中居邦子姉 2代目 佐々木貞子姉 3代目 中村涼子姉 4代目 高橋正子姉

現在岩手県で一番歴史のある団のため、連盟の運営を担う連盟長・副連盟長・理事を多く輩出。ガールスカウト日本連盟の副会長をつとめた 岩動麗 元支部長も3団所属。

*楽しかった活動の思い出

支部結成30周年記念北海道旅行、35周年記念愛知万博旅行。復興バザーなどなど。

*お世話になったリーダー

大宮優子リーダー 長畑ルミ子リーダー 向口恵美リーダー

*今後に向けて

現在ある団で一番古いので注目されることが多いが、気負わず楽しく活動をしていきたい。



スカウトが一番多い時は58人も！ 誰だかわかるかな？

第5団

1968年(昭和43年)10月発団

発団者である当時花巻幼稚園園長の古館よりリーダーが、少女がもっと学べる場・経験できる場をと考えていたところ、ガールスカウトの存在を知り第4団(一関)に次ぎ、花巻市で発団。

<歴代団委員長>

初代 古館より姉 2代目 高橋温子姉 3代目 高橋カヨ子姉

明るく活発で、頼りになるリーダー、団委員長方。古館よりリーダー、鈴木牧子リーダー、郡司姉には大変お世話になった。鈴木牧子リーダーの娘さんである麻依リーダー早弥リーダーは、若くて優しくスカウト達にとっても慕われた。

*楽しかった活動の思い出

団の周年事業では、青森の米軍基地内のイベントに参加。春夏秋、キャンプをする団なので、いつか(冬)もキャンプをしてみたい。

*今後に向けて

50年以上続いていることに感謝し、つないできた灯をたやさないように、また、形は変わっても「モットー」は変わらないように新しいことにチャレンジできる団活動をしていきたい。子どもたちの自主性を生かすプログラム展開をしていきたい。



リーダーから沢山のお話を聞き、グッズを見たり質問したり♪ 岩手県連盟の年表も作りました

第9団

1969年(昭和44年)10月発団

岩手国体を控え、水沢市(現 奥州市)で、駒形神社宮司山下氏、駒形保育園の先生方、市教育委員会・社会福祉協議会・第2団(江刺)や市内のボーイスカウト、関係団体の支援により、第6団(大船渡)第7団(葛巻)第8団(久慈)に次ぎ発団。

<団委員長>

初代 安彦ハナ姉 2代目 菅野和子姉 3代目 石川タミ子姉
4代目 千田弥生姉

初代ボーイスカウト総長 後藤新平の出身地でスカウト活動に理解が深い水沢。市や支援団体からの助成が発団以来継続。

***楽しかった活動の思い出**

最初の岩手県大会が水沢公園で行われ県下のスカウトが通りをパレード。寝袋がない時代に毛布に安全ピンで寝袋を作り宿泊したこと。神社庁スカウト全国大会への4年毎参加。APCキャンプのマレーシアスカウトとの交流などなど

***今後に向けて**

「9団の9は苦ではなく永久の久」との2代目団委員長の言葉。ガールスカウトを愛したリーダー達の思いを胸に地域の子どもの手本となる活動を目指す。



発団時の写真

県内スカウトと市内祝賀パレードを行いました

第14団

1970年(昭和45年) 6月発団
1988年(昭和63年) 6月再発団
1998年(平成10年) 6月再々発団

同じく岩手国体のために、崎山ミイさんを中心に、第12団(前沢)第13団(二戸)に次ぎ、宮古市で発団。平成10年に再々発団。

<団委員長>

初代 崎山ミイ姉 2代目 山崎和子姉
3代目 重茂 俊姉 4代目 崎山ミイ姉
5代目 野沢三枝子姉 6代目 平井二三子姉
7代目 熊坂伸子姉 8代目 平井二三子姉
9代目 佐々木美佐穂姉

***楽しかった活動の思い出**

盛岡さんさ踊りパレードに韓国スカウトと参加。「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」で入賞。東日本大震災の翌年アメリカのスカウトが宮古に来てくれたこと。北海道へ行ったこと。成人会員で戸隠へ行ったこと。

***今後に向けて**

必ずスカウトを増やす。



新聞やラジオで活動を取り上げられたことも!



第11団

1970年(昭和45年) 2月発団
1993年(平成 5年) 11月再発団
2013年(平成25年) 11月再々発団

同じく岩手国体を機に地元の支援を受け、第10団(陸前高田)に次ぎ、紫波町で発団。昭和20年代(岩手の第1期)にも紫波ではガールスカウト活動がおこなわれていた。その時に活動していた瀬川智子リーダーを始め、再発団の時には、関泰子リーダーに大変お世話になった。

<団委員長>

初代 瀬川智子姉 2代目 渡辺富美子姉 3代目 瀬川智子姉
4代目 関泰子姉 5代目 鈴木靖子姉 6代目 藤根あけみ姉

***楽しかった活動の思い出**

発団当初は、20人くらいのスカウトがいた。その当時の制服はグレーのワンピース(ツーピース)で、エンジのベレー帽だった。お姉さんたちとの活動が小さなスカウトにとっても楽しかった。体調がすぐれず、休団しなければならなくなった時はとても悲しかった。戸隠でのキャンプは忘れられない思い出。

***今後に向けて**

休団を何度か繰り返したが、今まで関わった多くのリーダー方の思いを受け継いで、長く楽しく活動をしていきたい。



発団時スカウトだった鈴木千佳子リーダーからお話を聞いた後、11団の年表を作成(在籍スカウトが生まれた年も記入しました)

第18団

1975年(昭和49年) 3月発団

「教会の日曜学校と同じことをしているので体を動かすことが多いガールスカウト活動を作っても良いのではないか」「神さまが共にいて下さって平和な心が育っていく活動が良いですね」と、日曜学校の一部として、盛岡市四ツ家教会で1974年からスタート。1975年11月ボーイスカウトと合同で発団式を行った。第15団(石鳥谷)第16団(遠野)第17団(釜石)に次ぎ発団。

<団委員長>

初代 村上佑子姉 2代目 小野寺順子姉
3代目 金子淑子姉



小野寺団委員長は、朗らかな明るい感性豊かな方で、本をよく読み広い知識を持ち、お話し上手だった。真っ赤な口紅の良く似合う美しい方でスカウト・リーダー達をとっても愛し大切にしていた。

***楽しかった活動の思い出**

福祉、奉仕活動をはじめキャンプ・ハイキング、料理、園芸、野菜づくり、陶芸・クラフトなど。東日本大震災後、間もない時期に大学進学を控えた2人のレンジャースカウト(高校生)が主体的に被災地に支援物資を届け、募金を実施し、苦しむ方々への深い思いやりをみせた。大学在学中のヤングリーダーによる楽しい活動。

***今後に向けて**

やくそくとおきてをもとに毎回の活動を大切に続け、スカウト・保護者との一期一会の気持ちを大事に活動を創っていきたい。



みんな、笑顔でなかよし♪

第20団

1977年(昭和51年) 3月発団

第19団(浄法寺)に次ぎ、北上市で発団。

<団委員長>

初代 司東節子姉 2代目 片方ハル姉 3代目 小原ウメ姉
4代目 吉田徳子姉 5代目 司東節子姉 6代目 岡崎素子姉
7代目 渡邊トモ子姉 8代目 堀江由紀姉 9代目 堀江美都子姉
10代目 岡崎素子姉 11代目 高井明恵姉 12代目 藤田久美子姉

*楽しかった活動の思い出

フィリピン・マニラの、恵まれない子ども達を支援している方に、スカウトが集めた未使用の文房具を寄付。SDGs活動「歩く国際協力」など、他団体と連携して国際的な支援プログラムを行った。

*今後に向けて

地域の団と協力してスカウト活動を継続していきたい。



国際協力 世界とつながる活動を

第27団

1993年(平成5年) 1月発団

第21、22団(盛岡)第23団(西根)第24団(矢巾)第25団(玉山)に次ぎ、第2回ジャパンエキスポ・三陸海の博覧会を機に、大槌町吉里吉里で発団。

<団委員長>

初代 白沢幸子姉 2代目 三浦ヒナ子姉 3代目 中島節子姉

*楽しかった活動の思い出

雨の中の支部キャンプ。東日本大震災復興支援で他連盟からの招待事業に参加したこと。地域行事への鼓笛隊活動、花植え、海岸清掃、沢登りなどなど。

*今後に向けて

地域に密着している特性を生かし、元気に活動していきたい。



大切な 地域に役立つ活動

ハーベストリポート&ワールドシンキングデイ2024

2月17日(土) 北上市文化交流センターさくらホールにおいて、「ハーベストリポート&ワールドシンキングデイ2024」を開催しました。

午前の部 ハーベストリポート

全団揃っての発表。動画を交えたとても分かりやすいもので、各団の1年の活動を良く知ることができました。「私たちも今度やってみたい」という感想も出るなど、スカウトはとても刺激になったようです。

他にも、シニア(中学生)部門地区事業やレンジャー(高校生年代)全国キャンプへの参加者からの報告、ユース年代(18歳~25歳)からの発表は、良いロールモデルになりました。

さらには、ジュニア部門(小学5、6年生)から募集した実行委員スカウト達がしおりや開会式・閉会式・進行の企画準備を行い、当日の運営をとてもスムーズにしていって「さすがスカウト!」と感じました。

午後の部 ワールドシンキングデイ

「私たちの世界、私たちの発展する未来」のもと「環境」という3年間のテーマのまとめとして、『より豊かな未来を作るために何ができるか』を考え、理解し、行動を起こすことができるよう、楽しい沢山のアクティビティから学びました。

最後に、1人1人がイメージをふくらませ『こんな未来を作ろう』と描いた絵を集め、シンキングデイファンドを行いました。



県連
ユース

クリエイティブチャレンジプログラム
ファシリテーター養成研修に参加

新しく始まる「クリエイティブチャレンジプログラム」ファシリテーター養成研修に、第5団のユース(18~25歳)須賀光さんが、全国25名のファシリテーターとして養成研修に参加しました。光さんからの報告、ご紹介します。

9月8日から10日にわたって実施された、「クリエイティブチャレンジプログラム」のファシリテーター養成研修に参加してきました。北海道から鹿児島までの17都道府県から、25名のユースが集まりました。

このプログラムは、日ごろ感じているモヤモヤから問題を見つけ、枠にとらわれず自由に考えながら解決策を見つける、という一連のプロセスを学ぶものです。特定の個人の悩みから出発し、その人のために何ができるだろう、というところからアイデアを膨らませます。そしてインタビューで話を聞き出し、参加者同士でフィードバックを繰り返し、そのアイデアを少しずつ深めていきます。

驚いたのは、ある1人のために出したアイデアや解決策も、他の人たちや社会全体にも通用するものだ、ということです。でも、個人が社会を形成すると考えれば、ある個人に向けたアイデアが広く応用できるのも、不思議ではないでしょう。また、他の参加者が出した、私には思いもつかないようなアイデアの数々に触れることができ、リーダーの発想の豊かさに刺激を受けました。

来年から、シニア・レンジャーを対象にプログラムを提供する予定です。私を含め、今回の参加者が進行を務めます。このプログラムの目的は、問題を見つけ、自由な発想をめぐらせて解決策を導く手法を学ぶことだけではありません。これをスカウト活動、学校や仕事など各個人の生活に応用してもらい狙いがあります。私も、学んだ方法をどう生活に活かせるか考えているところです。



3日間本当にお疲れさまでした 全国へ、ファシリテーターとしてプログラムの普及活動、頑張ってください！(編集より)

県連
ユース

ガールスカウトカフェ in いわて Vol 4



12月3日(日)

盛岡市「アイーナ・いわて県民情報交流センター」において、昨年からの引き継ぎ4回目の『ガールスカウトカフェ in いわて』を開催。

ユースたちの『戸隠ガールスカウトセンターへみんなで行こう！』の活動が、いよいよ本格的に始まりました。

当日は、まず奥寺茜音さんから、北海道での地区シニア事業引率の報告。次に、東京で活動している須賀光さんから、上の記事の通りの日本連盟ユース対象の事業参加の報告がありスタート。

次に本題の『戸隠ガールスカウトセンターへ行こう！』の企画を始めるにあたって、予見の確認を行いました。

時期をいつにするか、費用は？等、具体的な話があり、サポートのリーダーも混じって、「思い」や「願い」をたつぷりと詰め込んだ企画の時間となりました。みな真剣な表情で細かな部分を考え、意見を出し合いました。

2024年9月14日~16日の3連休。

熱いユース企画の55周年記念キャンプ！

理事会承認を得てレンジャー部門も参加募集対象となりました。

さあ、張り切って行きましょう！Go！Go！（55）キャンプ！！

ユースたちの企画、とても楽しみにしています(編集より)

高橋和恵連盟長からのメッセージ



連盟長

高橋和恵

第5団所属

ご卒業された皆様、フライアップされるスカウトの皆様、おめでとうございます。

ふりかえると「あんなこと」「こんなこと」沢山ありましたね。今までの学びをしっかりと胸にし、次のステップへと歩いていきましょう。

日本には「四季」というものがある、桜の花をはじめ多くの植物たちが寒い冬を乗り越えて美しい姿で私たちに温かい気持ちを分けてくれる、新しいことに巡り会える「春」がやってきましたね。もう巡り会えたスカウトもいるかな？

新しいお友達との巡り会いやチャレンジしたい気持ちやものごと等、何があるでしょうか。まだ巡り会えていないことも・・・。

きっと、ワクワクどきどきが沢山あると思います。もしかしてちょっと不安なこともあるかもしれませんが、大丈夫！

皆さんは「ガールスカウト」です。

「やくそくとおきて」を思い出してみましよう。唱えるだけではなく日々の生活の中で実践され身につけていますよ。集会の中で仲間と積み重ねてきた体験も沢山ありますね、それがパワーになるはずですよ。一人じゃないよ！

ガールスカウトの仲間が居ます。そして自分もガールスカウトの一員として他の人のお役に立つことができます。自信と誇りを持ち、勇気をもって進んでまいりましよう。リーダーは心から応援をしています。

私たちガールスカウト岩手県連盟は「ともに 進もう 岩手県連盟」を合言葉とし、2024年度は、「魅力発信～楽しいガールスカウト～」を掲げて取り組んでいきます。

皆さん一人ひとりの熱い想いを重ね合って大きな力にし、笑い声が天高く響きわたるように、元気なガールスカウト活動をしていきましょう。

2024年 3月

今後の予定

----- *総会承認後、正式となりますので日程など変更になる場合があります-----



4月

2日(火) リーダー養成講習会 A *決定

紫波町 オガール 10:00~16:00

29日(火) 「歩く国際協力」 in 北上 *決定

北上駅前→ふれあい親水公園へ



5月

ガールスカウトの日 お祝いしましょう

26日(日) 第55回岩手県連盟 定期総会

6月

8日(土)~9日(日) リーダー養成講習会 C

大槌町吉里吉里 フィッシュアイーナ

22日(土)23日(日) 指導者研修会 青少年育成アドバイザー連合会研究会に参加

盛岡市 いわて県民情報交流センターアイーナ&フラップいわて



7月

13日(土)~15日(月・代休)

岩手県連盟結成55周年記念キャンプ

国立岩手山青少年交流の家



▲ホームページ



▲Facebook

編集後記/組織広報の菊地です。2023年度が無事に終了しようとしています。特集記事「団の歴史を調べよう」に関し、団の皆さんから沢山のご協力をいただき感謝しております。「そうだった」「うんうん、あったね」と私自身も思い出することが多く、その思い出のひとつひとつが、団を支えるリーダーたちの力になっていること、また、少女たちの興味や関心につながって、活動の刺激になったことを感じ、とても嬉しく思いました。4月からは新しい年度が始まり、いよいよ県連結成55周年の幕が開けます。記念事業も予定されています。新たな年度も、生き生きとした活動の様子をお伝えできることを楽しみにしております！

ガールスカウト岩手県連盟

所在地/岩手県盛岡市みたけ3丁目38-20 フラップいわて内
TEL・FAX/ 019-641-1153
事務局開局/月・木 11:00~16:00
Email/gs.iwate.1153@able.ocn.ne.jp